

いま、温暖化ってどうなっているの

地球温暖化に関心を持ちましょう。温暖化は確実に進んでいます。世界のどこかでではなく、日本でも温暖化による大規模な災害や食糧危機、水不足が懸念されています。このままでは、子どもたち（子や孫）の未来は必ず悲惨なものになります。

←大雨による洪水被害が、世界各地で増えています。本町でも近年、集中豪雨が相次ぎ、平成18年7月に起きた県北部豪雨災害時には、住家や道路の浸水、土砂災害などが多数発生しました。

←近年、台風や竜巻が異常発生しています。日本では平成16年夏、台風が異常に発生、上陸しました。本町近辺でも多くの竜巻が目撃されています。

地球の平均気温を15℃と、人間をはじめ生物が生きるのに適した環境に保っているのが温室効果ガスです。本来、この温室効果ガスは無くてもならないものです。しかし、この温室効果ガスが増えすぎると、地球はどんどん暖かくなってしまうのです。

温暖化の原因は人間の経済活動

20世紀の間に、地球の平均気温は0.6℃上昇し、平均海面水位は10〜20センチ上昇しました。日本でも、平均気温が1℃上昇しています。

このような気温の上昇により、大雨洪水や干ばつ、台風、竜巻、氷河の後退、異常高温による森林火災などの異常気象が増加しています。地域の気候が変化して、生態系等にも影響が現れてきています。過去50年間の地球温暖化の主な原因は人間の経済活動であると言われています。

地球温暖化によって生じるさまざまな影響を防ぐため、私たちは今すぐ行動することが必要です。



↑海面の平均は、20世紀の間に10センチから20センチ上昇しました。南太平洋に浮かぶ珊瑚島9つからなる国、ツバル。その首都、フナフチ島では、環礁のため内陸から湧き上がった海水により浸水しています。

→世界各地で干ばつによる被害がでています。本町も、夏場は毎年のように渇水対策本部を設置するほどの水不足で、農作物への影響を受けています。



↑20世紀後半、地球上の多くの氷河は大幅に後退しました。アラスカやカナダ西部では、積雪期間の短縮、海水の減少、氷河や永久凍土の融解が生じています。

